



たまがわ

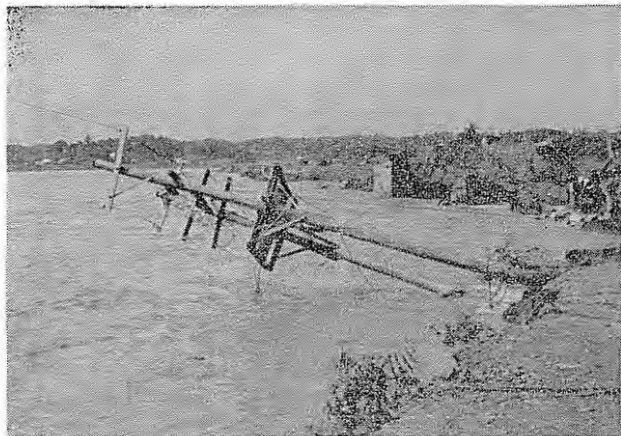
広報

村のようす
(8月1日現在)

世帯数 1,424戸
人口 7,701人
男 3,742人
女 3,959人
面積 46.65 Km²

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
大越力夫
でんわ 川辺 1・39・124

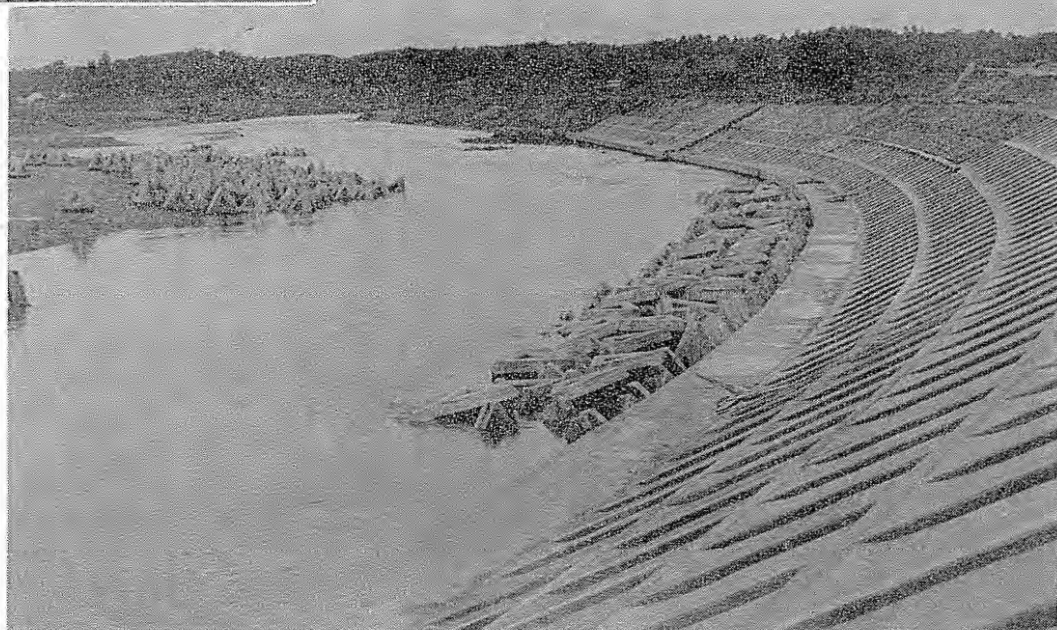
印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷



被害写真

台風26号被害地の 復旧工事進む

完成した藤壇堤防



四十一年九月二十四日と二十五日の台風二十六号の通過により、阿武隈川藤壇堤防が欠潰大きな被害を受けたが、その後土木事務所努力により、写真のようなコンクリートブロック張りの立派な堤防が完成しました。

龍崎湯沢組及仙台治水工業の請負により、総工事費一、一二二五、〇〇〇円で二年間に渡り完成したものです。

九月の行事予定表

- 総務課
- 二三日 選挙管理委員会
 - 下旬 定例村議会
 - 下旬 村有林岩法寺測量
- 住民課
- 一五日 敬老会 泉中にて
 - 一日より二九日まで インフルエンザ予防接種
 - 二〇日 老人健康診査 須釜地内
 - 二七日 秋期大掃除 西部地区
 - 二八日 精薄児愛護月間 東部地区
 - 九月全 結核予防週間
 - 二四日～三〇日 愛の血液助けあい運動
 - 九月全 失業対策事業の実施
- 建設課
- 中旬 林道工事入札
 - 二六日 災害事業入札
 - 下旬 道路舗装工事入札
 - 月間 失業対策事業の実施
- 産業課
- 一九日 土地改良区理事会
 - 二一日 稲刈機械実演会
 - 二二日 米作増収協議会坪刈
 - 二二日 農業委員会 本庁
 - 二五日 農業振興協議会
 - 二六日 農構事業(ほ場整備)入札
 - 二六日 出稼相談所開設 支所
 - 下旬 農業後継者会議
- 教育委員会
- 二〇日 教育委員会
 - 一日 川辺小運動会
 - 一八日 須釜小運動会
- 公民館
- 九日～一八 岩瀬村青年研修派遣生受け入れ
 - 一五日 部落対抗婦人バレー大会 泉中
 - 下旬 青年学級生研修視察



須釜小学校

村内で一番児童数の多い学校、又県内にもめずらしい実業補習学校のあった学校として須釜小学校に一番バツターで登場して戴きました。

明治五年学制發布になり、同六年三月一八日南須釜八又小山田一郎氏宅に清復小学校として南須釜地区の学校と、同年三月二五日北須釜東光寺内に第七六学区第五番中学校として北須釜地区の学校の二校が発足した。その後南北の学校で北が本校になり南が分校になったこともあり、北が本校当時は現須釜地区の外に狸森、雨田、大栗を合併したこともあった。

明治三十五年九月二八日、大暴風雨のため行人塚(現大木病院向)にあった須釜尋常小学校が倒壊したので現在地の奥平に南北合併の上小学校を新築することになった。当時此の地区は往古斬罪ヲ執行セシナルヲ以テ御真影ヲ奉安スベキ所ニアラズ。新築費用ハ凶作及び暴風雨害ノ被害ノ結果村民の負担が増ス。の理由で反対もあったが村長森隆重、助役塩沢恒吉、学務委員相楽良吉、校長三木常

朗なこども
○心身ともに健康で明
朗なこども

次郎、建築委員矢吹貞次郎、草野勘七、矢部茂八、大和田由蔵、大越直右衛門、我妻房之助、石森伊三郎、小針捨吉、宗形源治、局外者大野養太郎、大木亥之吉、相楽朝重、村会議員大和田留蔵の諸氏などの努力により合併校舎の新築を見た。

当時の工事費総額一八〇〇円五一銭八厘内一〇〇〇円補助、一一九円県補助、八五〇円教育資金、三〇〇円積立金となり土地買上代金は一時借上となったので村民に負担はなかった。

大正一〇年に高等科を廃し、実業補習学校を附設し水田業畑畑、たばこの外豚、綿羊、鶏等小家畜が飼育され花卉栽培用の大きな温室もあって農学校の様装であった。

明治四三年に四辻に分教場を設置、昭和三〇年三月三〇日町村合併により玉川村立須釜小学校となった。

明治四三年に四辻に分教場を設置、昭和三〇年三月三〇日町村合併により玉川村立須釜小学校となった。

明治四三年に四辻に分教場を設置、昭和三〇年三月三〇日町村合併により玉川村立須釜小学校となった。

我が村の小学校

を教育目標に根拠等校長、添田勝夫教頭を中心に全校生五一三名は先輩に負けまいと勉強にはげんでおる。

合併前須釜小学校分校
明治六・三二 開校同年六月清復小学校と称す。(南須釜村、北須釜村、山小屋村、山新田村四ヶ村を学区とする。)

合併後
明治四・五二 校舎増築
昭和一〇・一 四辻に旧寺を改造分教室を設置す。

九・二 校舎を小山田正良宅に移し、四八番須釜小学校と改称、北須釜分校を本校に引直し北須釜小学校と称す。

二〇・二 校舎新築
二六・六 第六六号に依り第四番学区南須釜小学校と改称す。

二六・八 校舎を南須釜行人塚五九に移し更に校舎を新築す。

二六・四一 須釜尋常小学校と改称す。

二六・四一 須釜尋常小学校と改称す。

三〇・三 北須釜尋常小学校南須釜分校を指定する。

三二・三 北須釜簡易学校南須釜分教室と指定する。

三三・二 北須釜合併前須釜小学校分校と改称す。

三三・二 北須釜合併前須釜小学校分校と改称す。

三三・二 北須釜合併前須釜小学校分校と改称す。

三三・一 高等科を併置す。

三三・三 裁縫教室を設け裁縫科を置く

三三・三 須釜尋常高等小学校に合併する。

三三・三 須釜尋常高等小学校に合併する。

三三・三 須釜尋常高等小学校に合併する。

三三・二 高等科教室二五坪(八二、六四㎡)を増築、三〇五坪

三三・九 暴風雨となり校舎倒壊す。

三三・三 須釜尋常高等小学校を合併す。位置現在地南須釜奥平一〇八番地。

三三・三 須釜尋常高等小学校を合併す。

三三・三 須釜尋常高等小学校を合併す。

農地等の小団地 基盤整備事業について

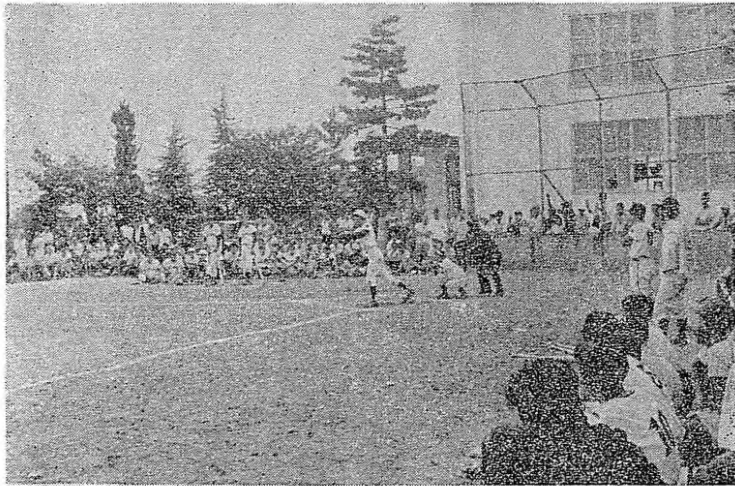
山林の開こん又は農地の区画の拡大は、近代農業を行うためには最も必要なことであるが、国県等の補助事業としては、二〇ha以上の団地でない補助の対象となりませんので本村では、二〇ha以下のものについて補助金を出して、これが造成をはかる目的で昭和四一年度に「農地等の基盤整備事業補助要綱」を定めましたが、未だ村民の間に徹底しておりませんので、改めてその概要をお知らせしこの程事業の促進をはかりたいため皆様のお協力をお願いします。一、団地の大きさ。二、アール以上五ヘクタール以下で、一枚の耕地は田は一五アール以上畑は一〇アール以上であるもの。三、補助金交付率。事業費の二〇%以内

三、事業計画の提出。補助金を受けて事業を実施しようとするものは、前年度の十月末までに事業実施計画書を村長に提出して承認をうける。四、補助金の交付。事業完了したときは完了届を村に提出し村は事業の確認を行い補助金を交付することになります。以上はこの要綱のあらましですが、最近山林の開墾が目立っておりまして、村としてこの種事業が一年間にどの位あるか、予算の関係もありませんので、計画書の提出は期限を守っていただきたい。なお速急に工事を実施したい方は、十月十五日までに計画書を提出して下さい。申請について不明の点は、産業課にてお尋ね下さい。

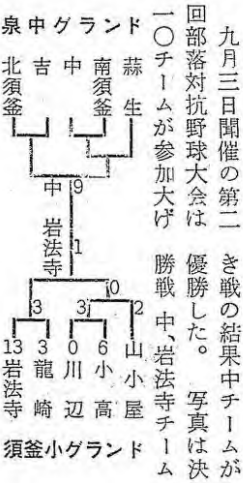
三、須釜村民小学校は須釜村尋常小学校と見なされる。三、四辻分校二学級となる(作業場を仮校舎とする) 同年四月、四学級とし六年までとす。

いつまでもお元気で

九月十五日は敬老の日でしたが、我が村の八十才以上の高令者は九十八名(男三十二名、女六十六名)です。最年長者は、川辺矢部コチウさん、四辻新田藩井ハツさんの二人で九十三才、又今年八十才になられ仲間入りされる方は二十名おられます。心も体も健康で、病気を知らず楽しく幸せに長生して下さい。



八十才以上の高令者	川 男3	坂 女13	大 女13	板 女13	矢部コチウ	矢部ハツ	須藤永次	白旗ハタ	熊田ケン	山崎フヨ	鈴木仙助	三瓶イチ	矢部之助	味原フキ	矢吹クン
	86	93	80	80	81	89	80	81	88	82	82	87	83	80	80



第二回玉川村部対抗野球大会 中チーム優勝

九月三日開催の第二回部対抗野球大会は優勝した。写真は決一〇チームが参加大げ 勝戦中、岩法寺チーム

高車	首藤	関根	車田	国井	溝井	溝井	添田	関根	矢吹	矢吹	関根	真弓	曲山	小高	大竹
原田	藤原	根崎	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重	井重
80	85	84	86	82	80	84	85	83	89	85	83	80	84	82	81

農業祭のお知らせ

今年心配された台風もなく高温つゞきで大豊作が予想されますので、十一月二十三日の勤労感謝の日を中心として村において感謝祭を行う予定なので、出品物を今から準備されるようお願いいたします。

農業祭のあらまし
 一、農産物評議会
 二、和牛乳牛豚の共進会
 三、実績発表会
 四、農業講演会

中	角田	小針	小針	国分	小針	首藤	永林	大竹	竜崎	仁井	小林	小林	小林	仁井	大竹
男4	女3	男4	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5	男5

北須釜	中	南須釜	岩法寺	吉田	大竹	草野	村越	矢吹	倉鎌
13	3	3	0	6	10	10	10	10	10

仁井	小林	小林	上野	岡部	小林	小林	鈴木	鈴木	鈴木
82	84	81	83	83	85	80	83	80	83

老人の善行

竜崎の矢吹市三さんは去る八月十三日、須賀川「五銭茶屋」前で婦人のバックをひろって届けた所、いわき市の大室さんから「先日主人の実家に行く途中バックを失くして困っていた所貴男様の御正

小作料が変りました

このほど「農地法施行規則の一部を改正する省令」で小作料の最高額の基準が改正され、田については四倍、畑については二、五倍となりました。

玉川村には現在小作地が田三、二六八アール、畑二、五六四アールありますが、殆どの小作地が文書契約期間がきたままになっ居りますので、早急に文書契約をされるよう、農業委員会では十月一日より十月三十一日まで、小作地の文書契約期間として、用紙等を取揃えて、皆様のおいでをお待ちして居ります。

玉川村農業委員会

九月一日より

北須釜

草野	瀬谷	草野	渡辺	矢吹	鈴木	矢吹	佐久間	小針	関根	瀬谷	矢吹
84	85	82	80	81	87	80	87	81	86	83	80

天気予報

十月の天候は農家にとって、一年中で一番大切なときであると共に「天高く馬肥ゆる」ときで健康にもよい時期でしよう。

では十月、十一月の天気予報はどうでしょうか。福島気象台発表

の長期予報を見てみると今年の秋は比較的晴天に恵まれる見込みで九月下旬は雨が降り易く十一月後半には季節風の吹出しがあるが台風は九月に一、二ヶ所に一ヶ位となっており、十月月上旬の天気は不安定ですが、中旬以後は安定した秋晴れとなりましよう。

以上のとおりですがこれは長期予報ですので安心は禁もつです。ラジオ、テレビの予報に注意して、農作物のとり入れ時きつけを適期にするようにして下さい。(産業界)

岩瀬村青年派遣 研修生を受入

九月四日より十八日 高の白菜等を視察、一
まで、岩瀬郡岩瀬村よ、二日は実習、一三日は
り上妻博隆君、国分忠 須釜地区北須釜佐久間
君、相楽イチ子さん、 安蔵氏宅酪農経営、北
須釜の共同たばこ経営 須釜の共同たばこ経営
は研修生とし玉川村に 南須釜共同養鶏場、全
派遣され現在の様な 共同養鶏場を視察し
日程で実習にはげん 大越茂久氏宅に泊り、
います。 一四日実習、一五日に
上妻君と国分君は北 須釜佐久間安蔵氏宅、
相楽さんと鈴木さんは 須釜小林隆次氏宅に宿
泊九月四日から七日ま で実習八日、青年学級
生と交歓、農試見学 九日一〇日と実習、一
日泉地区竜崎小林昭 平氏宅蔬菜果樹経営、
竜崎小林隆次氏宅の農 業経営、中地区の構造
改善、ホップ、小高添 田昇吉氏宅の養鶏、小

福島県交通事故移動相 談所が開設されます

益々増加の傾向にあ る交通事故の相談を受 けるため「県交通事故 移動相談所」が次の要 領により実施されるの で御利用下さい。
開設日時場所
毎月五日 福島県西 白河事務所(但し開

九州の旅

溝井一郎

神葉の青き幾重の山越へて陽の暖き宮
崎に来し
春浅き宮崎国原暖く田を鋤く馬の逞し
き汗
風紋の如き石原渡りきて熱帯林の中に
汗じむ
高崎山
頂上より下りくる猿の集団に風吹く如
し木にゆさぶり
山下りる猿の集団近づけば大きく揺る
る常緑樹の波

泊り家族との話合、翌
一六、一七日実習を行
い十八日解散すること
なっています。
その間竜崎4日との
交歓会、玉川村青年派
遣生との交歓会、北須
釜青年分団員との交歓
会を行い、岩法寺石造
五輪塔、川辺八幡さか
さ杉及本殿、東福寺舎
利塔等の文化財を見学
してもらいます。

もしも交通事故にあつたら

「ひかれ損」になら

ないようにこれだけは
覚えておいて下さい。
○車種番号を絶対に覚
えておく
○目撃者をさがす
○警察に届ける

また加害者が示談に来たら

○被害者が被扶養者で
も権利がある
○最近では自殺でもない
限り被害者の過失は
あまり問題にされな
い
○示談は保険額の最低
額から出発すること
が多い

萩 関根 栞 泉

咲きいでし野萩みだれて通り雨
ひとまれに萩のこぼるる関の跡
キン鯉の秋水となり一つの貌
亡き友の家久に訪ふ蓮咲けり
妻の留守蚊遣に就みて文庫本
睡蓮の花開きしより陽のきたる
しみじみと我溜息を秋の天

お誕生おめでとう

ごさいます (八月分の出生届書から)

- | | | | | | |
|-------|------|-------|------|------|------|
| 南須釜 | 岩法寺 | 藤井はつ子 | 大竹典恵 | 小原伸二 | 増子久美 |
| 出生児氏名 | 世帯主名 | 続柄 | 出生日 | 出生時刻 | 出生場所 |
| 藤井はつ子 | 成男三男 | 小高 | 八月一日 | 午後七時 | 岩法寺 |
| 大竹典恵 | 成男三男 | 小高 | 八月二日 | 午後八時 | 岩法寺 |
| 小原伸二 | 成男三男 | 小高 | 八月三日 | 午後九時 | 岩法寺 |
| 増子久美 | 成男三男 | 小高 | 八月四日 | 午後十時 | 岩法寺 |

ご逝去お悔み申し上げます

(八月分の死亡届書から)

- | | | | | | |
|-------|------|----|------|------|------|
| 死亡者氏名 | 世帯主名 | 続柄 | 死亡日 | 死亡時刻 | 死亡場所 |
| 仁井田ハナ | 平三郎 | 妻 | 八月五日 | 午後六時 | 岩法寺 |
| 喜一 | 音治の父 | 主 | 八月六日 | 午後七時 | 岩法寺 |
| 正一 | 徹の父 | 主 | 八月七日 | 午後八時 | 岩法寺 |
| 彦右衛門 | 助母 | 父 | 八月八日 | 午後九時 | 岩法寺 |
| 徳美の父 | | | 八月九日 | 午後十時 | 岩法寺 |

歩行者も交通ルールを守りましょう

斜め横断は天国への近道

このほかいろいろ法
律がありますが、示談
裁判とも法的手続きが
めんどう。できれば警
察の交通相談所、弁護
士会の交通事故処理委
員会、交通安全協会の
に相談下さい。(郡山放送局より)

朝夕秋らしさをかん
じる候となりました。
台風二十二号も上陸し
ないで太平洋に去り心
配された被害もなく済
みました事を御喜び申
上げます。
今年には史上空前の豊
作といわれています。
来るべき収穫の秋に備
え、健康に留意し病氣
などにかまらぬよう御
注意下さい。
紙面の都合で「血圧
の高い人の日常生活」
は来月号に延ばさせて
戴きます。
我が村の小学校の歴
史を今月号より掲載し
ました。資料を提供し
て戴いた教育委員会、
学校長に御礼申し上げます。

先月の日誌より 八月

- 八二 決算監査
- 八三 農業委員会
- 九三 第二回玉川村部
- 九七 第二回臨時村議
- 九八 特別職選任
- 九九 小高小学校運動
- 会
- 落対抗野球大会 中
- チーム優勝

今月の税金は

- 国民年金 第二期分
- 国民健康保険税 第三期分
- です
- 期日までに遅れぬようお納めください

